



ムダ遣い
やめて!!

小さな庁舎で大きな福祉の
近江八幡市へ

新春号

2018 年 1 月 発行 No.11
市民が考える庁舎の会
(連絡先) 近江八幡市小船木 778-7
小西 理 福本幸夫 檜山秋彦 090-9612-4649

市民が考える庁舎の会

10,154

筆の署名

庁舎建設工事前倒し強行に圧倒的な批判

市長選挙では重大な争点に浮上

95億円庁舎建設

「新庁舎の建設にかかる予算の議決は四月の市長選挙後に行なうこと」という請願にたいへん多くの署名をあげていただきました。

「なぜ病院跡地でないのか」「なぜひまわり館などの施設を活用せず巨大庁舎が必要なのか」「今後の財政は大丈夫なのか」市民の疑問を一つとして明らかにせず、オリンピック景気による建設費用の高騰への何の対策もないまま、市長が、「新庁舎の建設に係る関連予算、91億2百万円」を提案したことに大きな怒りを感じます。この怒りの結集の署名が市政を動かしています。

市民の声を聞く
べきが首長の姿勢



昨年9月からはじめた第2弾の「新庁舎の建設にかかる予算の議決は四月の市長選挙後に行う」ことを、市議会に求めた請願署名は、最終的に、10154筆集まり、12月議会に提出しました。結果は、日本共産党の3名の議員のみの賛成で否決されました。

この間市長は、市民の願いに背を向けて、今や、総事業費では100億円超えとなる庁舎建設の前倒しを加速させ、昨年10月から、周辺施設の解体工事を行い、「もう工事が始まったから無理…」と市民をあきらめさせることをねらいましたが、その思

署名へのご支援ご協力本当にありがとうございました

これからがホントの勝負



が争点になるとした発言は、1万余の署名が大きな影響を与えています。議会は請願を否決しましたが、請願の趣旨は達成されたと同じです。

総額100億の
庁舎は、市政全般に
関わる大問題



昨年の10月30日付で出された最新の市民アンケートでは、今後十年間で、特に力を入れるべき取り組みとして、「交通安全対策の推進と市内の移動基盤整備・確保」(12.5%)が一番多く、これからもさらに投資的経費が必要になってくるのに、建物ばかり建てた結果、もうそこに回すお金がない状況になりつつあります。

二番目に多いのは「福祉の向上」(12.1%)ですが、緊縮財政が強いられれば、逆に補助金などがけずられる心配もあります。

今でも、学童保育への委託料が国の基準より低いまま放置されていたり、学童保育を今後公設で増やさない方針を決めたり、中学校卒業までの医療費の無料化が実施されていなかったりです。昨年10月現在120人の待機児童も解消の見込みがありません。

請願反対議員も
争点と認める



市議会では残念ながら請願署名は否決されましたが、反対討論を行った保守系議員が、4月の市長選挙においては、庁舎問題

予算のチェックは議会の仕事

下の資料は、市当局が示した財政計画です。平成27年度に10年先までの見通しを一度発表し、その後、新庁舎問題で「財政は大丈夫か？」との声が多く上り今年度「財政は大丈夫」ということを示すために出された資料です。

しかし、下線部分だけ同じ数字が並んでいます。数字あわせをしたのでしょうかと思えません。こんなずさんな財政計画を鵜呑みにし、「10年にわたって検討してきた。」として新庁舎関連の予算を承認しているのです。

市が出した公共施設管理計画の見通しでは、平成33年度から36年度の間、47億円から78億円の投資的経費（道路整備や施設設備の維持管理・改修に使う費用）が必要という見通しもあります。また、繰越金を入れた形式収支が平成29年度以降5億円となっていますが、これは、最低30億円は必要とされている積立金をつくり出すための数字のマジックです。本当に財政は大丈夫なのか根拠を示す義務があります。



区 分	平成22年度 (決 算)	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決 算)	平成29年度 (見通し)	平成30年度 (見通し)	平成31年度 (見通し)	平成32年度 (見通し)	平成33年度 (見通し)	平成34年度 (見通し)	平成35年度 (見通し)	平成36年度 (見通し)
形式収支	1,706	1,093	941	500	500	500	500	500	500	500	500
実質収支	1,457	650	519	500	500	500	500	500	500	500	500
地方債現在高	21,029	27,913	27,866	29,413	34,220	35,437	35,378	34,504	33,554	32,598	31,623
投資的経費	4,330	10,673	5,379	6,371	11,036	5,575	2,820	1,384	1,384	1,384	1,384
その他の支出	3,226	4,022	4,099	3,554	3,637	3,618	3,663	3,780	3,893	3,957	4,003
歳 出 合 計	28,350	37,943	34,949	32,361	37,210	31,732	29,353	28,419	28,950	29,404	29,797

近江八幡市中期財政計画（平成 29 年度見直し版）より抜粋

（単位：百万円）

春をよぶとい

小西おさむ

みんなで近江八幡市に春をよぼう

すみよい近江八幡市をつくる会からのお知らせ

2月12日(月)
午後 2:00~
G ネットしが
男女共同参画センター

「小さな庁舎で大きな福祉」は市民の願い

小西おさむ



「95億円巨大庁舎」はなんやかや合わせて総建設費100億円！を超えようとしている。他の市の詳しい方にきいても、それは費用かけすぎと間をおかず答えが返ってくる。費用の負担は住民なのにその声を聞いてみようと思わない。どうして市長選挙まで4ヶ月足らずのこの時期に急いで駆け込み契約をしようとするのかも不思議。10154筆もの署名に込められた想いは重い。市民の声を聞き、ともに歩む公平な市政を！



2017年12月8日

市民が考える庁舎の会

声 明

昨日、近江八幡市議会が「新庁舎にかかる関連予算の議決を、来年4月の市長選挙の後に行うことを求める請願」を反対多数で否決したことに抗議します。

本請願には1万人を超える市民の賛同署名が付されておりましたが、議会はこの多数の市民の声に背を向けました。

私たちは、市議会が市長提案を否決するように求めたものではありません。判断を、市長選挙後に先延ばしすることによって、議会人として、市民の多数意見がどこにあるかを見極めることを求めたのであります。反対した議員は、市民の声に耳を傾ける謙虚さを投げ捨て、市長の強権に屈服したと言わざるを得ません。

私たちは、市民病院跡地にシンプルで機能的な庁舎を建てることを求めます。

私たちは、安土旧庁舎やひまわり館といった公共施設を引き続き活用することを求めます。

私たちは、大きな庁舎でちいさな福祉ではなく、小さな庁舎で大きな福祉を充実する財政運営を求めます。

私たちは、財政破たんを招く巨大庁舎建設に反対します。

市長選挙がいよいよ目前に迫ってきました。任期切れ間近なこの時期に、将来に禍根をのこす庁舎建設を、ごり押しで拙速に強行することを許してはなりません。

私たちは、あらゆる手段を講じて、現市長の暴挙を阻止するために引き続き全力を尽くすことを表明します。

以上